令和５年度栄村教育委員会
活動の点検・評価報告書

令和６年９月

栄村教育委員会

栄村教育委員会活動の点検及び評価について

平成 19 年 6 月に学校教育法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、教育職員免許法及び教育公務員特例法の教育三法が改正され、改正教育基本法の新しい教育理念を踏まえた地方教育行政が行われることとなりました。

さらに、平成 26 年 12 月には地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、教育委員長と教育長の一体化など教育委員会の責任体制の明確化が図られることになりました。

これらの改正で、教育委員会が効率的な教育行政を推進し、説明責任を果たしていくために、教育委員会は自らの権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

以上のことから、栄村教育委員会は、令和 5 年度の主要な施策や事務事業の取り組みについて点検及び評価を行い、報告書として作成しましたので、提出します。

令和 6 年 9 月 3 日

栄村教育委員会

令和５年度教育委員会活動の自己点検・評価に関する報告

点検・評価項目

① 教育委員会の設置、委員及び会議に関すること
② 就学相談委員会に関すること
③ 育英資金に関すること
④ 学力向上に関すること
⑤ 学校施設等の整備に関すること
⑥ 社会教育、公民館に関すること
⑦ 青少年健全育成に関すること
⑧ 社会体育に関すること
⑨ 文化財等に関すること
⑩ 保育園に関すること
⑪ 栄村学童クラブに関すること
⑫ 自然保護（希少動植物調査）に関すること

点検項目①　教育委員会の設置、委員及び会議に関すること

事務概要　・教育委員会の会議は、毎月１回の定例会を開催（詳細は９頁からを参考）
・総合教育会議の開催（9/26）
【「みんなで学校を創ろう！」住民懇談会】
・「みんなで学校を創ろう！」⑦～⑯回の住民懇談会の開催
・先進地学校視察３回実施（5/25・6/23・7/11）延べ参加者：52 名
・村内パブリックコメントの募集（8/25～9/29）応募７件
・栄中学校のあり方について森区意見交換会の開催　（10/18）
・議会全員協議会で「小中学校の今後について」報告（11/15）
【秋山お茶しね～かぇ！住民懇談会】
・住民懇談会の開催（6/21）

評　　価　○教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定するもののほか、栄村教育委員会会議規則の定めるところにより実施した。
会議では、各学校の状況、児童生徒の様子や国・県、近隣市町村の教育行政の動向など最新の教育情報の把握、討議をすることにより、栄村教育の推進を進めた。今後も、教育の政治的中立性・継続性・安定性を確保しつつ、将来的な教育体制や幼児教育の充実に向け、協議を進める事としたい。
○令和４年度より学校のあり方を住民懇談会で進める、「みんなで学校を創ろう！」を 10 回開催し、先進地の学校視察も３回行い慎重な検討が進められた。現栄小中学校が目指す学校形態を「施設一体型　義務教育学校」とする方針及び義務教育学校の開校も令和８年４月１日とする方針が決定をされた。

住民懇談会での決定方針を、教育委員会、総合教育会議、議会全員協議会で承諾をいただき、将来の方向性を示すことができた。

〇統合する栄小学校改修に係る基本計画策定支援業務の業者決定も住民によるプロポーザル方式で進めた。基本計画の内容についても、住民懇談会で協議をしながら進められ、今後の基本設計の基礎となる教室活用の概要をまとめることができた。

〇栄小学校秋山分校の今後の方針についても住民懇談会を継続し進める事ができた。分校以外での活用についても地域住民より関係機関へ活用の打診を進めていただいたが、「廃校やむなし」の住民意見としてまとめることができた。

点検項目②　就学相談委員会に関すること

事務概要　・就学対象児童及び在校児童生徒の適切な学びの場の判断を行う。

・就学相談委員会は 10 人の委員で構成し、就学相談委員会調査員会（サテライト会）は 7 人で構成し、4 回の会議を開催した。

今年は対象児童の不在から、現状の取り組みや、保・小・中学校との情報交換を行う会議を開催した。

評　　価　〇就学相談委員会は、障がいのある幼児、児童、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた最もふさわしい教育のあり方を総合的に判断して「学びの場」について検討し、教育支援の方向を決める組織としての重要性は高い。各個の学びの実情は多種多様であり、極めてデリケートで複雑である。インクルーシブ教育の理念を大切にし、教育・医療・保健・福祉等関係機関が連携したサテライト会の運営を進められた。

点検項目③　育英資金に関すること

事務概要　・令和 5 年度末基金総額　46,556,409 円

・令和 5 年度末貸付総額　11,480,000 円

・令和 5 年度中の貸付額　720,000 円

評　　価　〇貸付状況は、令和 5 年度の貸付者は 2 名で、内訳は大学生 2 名となっている。また、5 年度中の償還者は 14 名であった。

基金全体の運営状況は、良好な状況を保っている。近年、新規申込者も 1 名程度で推移していることから、基金の余剰金の活用についての研究が委員会で進められた。

令和 6 年 3 月 31 日現在、償還期限以降も納付している滞納者は 2 名だが、連絡をとりながら計画的に一定額の返済を進めると共に、1 名は年度内に返済完了を行うことができた。

点検項目④　学力向上に関すること

事務概要　・学力向上委員会の設置（小中の教員で編成）
・民間の学力検査実施（年２回　ベネッセコーポレーション）
・夏期研修会、授業研究会の開催

評　　価　○本村では学力向上委員会を平成 11 年度から組織化し、子どもたちの学力向上に取り組んでいる。令和元年度から民間会社の学力検査を年２回実施し、理解の度合いを年度別に細かに分析がされ、個々における学びの支援について検討を進めた。個々への対応として、ICT 機器を活用した個別最適な学びや自由進度学習により進められた。教員も村の枠を超えた授業研究へ積極的に取組み、小中学校の協力・連携を深める検討会議を開催し、個別最適化の学習を推進することができた。

点検項目⑤　学校施設等の整備に関すること

事務概要　・栄村統合小中学校整備基本計画策定支援業務に係るプロポーザルの実施（10/22）
・スクールバス１台の購入
・栄小学校受水槽揚水ポンプ交換工事

評　　価　○令和８年４月１日からの「施設一体型　義務教育学校」の開校に向け、基本計画策定支援業務は、住民懇談で学校改修の計画内容を取りまとめることができた。
○毎日使用の登下校時のスクールバスの更新により、児童のより安全安心する確保を図ることができた。
○高架受水槽へ安定的な水の供給整備がなされ、学校運営上の利便性を向上させることができた。

点検項目⑥　社会教育、公民館に関すること

事務概要　・栄村歴史文化館兼栄村公民館の管理運営
・総合文化祭、各種講座の開催
・文化会館、図書室の管理運営

評　　価　○「栄村歴史文化館こらっせ」は令和５年度来館者数延べ 1,522 名と前年度より 49 名の増となった。今後も利用者増となるようなイベントを提供したい。
○村民の文化活動の発表の場である栄村総合文化祭は、10 月 14 日を小中学校合同音楽会、10 月 15 日をみんなのステージ及び第 45 回特別企画と２日に分けて開催した。多くの村民の参加は、文化への関心の表れであり、村民の多様な文化活動の成果を知ってもらうことができた。また文化月間として、村民の作品を約 30 日間にわたり展示し多くの観覧者が訪れ好評だった。
○公民館講座は、民生課と連携し、食文化をテーマにしたそば打ち教室等の講座を開催し、伝統的な食に関する住民意識の高揚を図ることができた。

○図書事業においては、平成 29 年度に策定した「栄村子ども読書活動推進計画」に基づき、ブックスタート事業や保育園での読み聞かせを行い、栄村公民館図書室では、村民が読書に親しみやすい環境を整備するため、冬期間の移動図書（2 週間に 1 度の集落巡回）を実施し、利用者延べ 199 名、547 冊の貸出を行った。

○冬期間の移動図書は、普段図書館を利用することができない高齢者等へ図書の貸出しができ、幅広い世代へ図書の利用を進めることができた。

点検項目⑦　青少年健全育成に関すること

事務概要　・栄村青少年育成協議会への補助金交付

評　　価　○栄村青少年育成協議会が村の自然や歴史文化、先人の知恵を学ぶことを通じて郷土愛と誇りを育むことを目的とし自然学校を 3 回開校した。8 月 10 日は小滝公民館を拠点としたデイキャンプを開催し、9 月 27 日は栄小学校ピロティを拠点にロゲイニング形式のビンゴゲーム（定められたエリア内に多数設置されたチェックポイントをできるだけ多く制限時間内にまわり、得られた点数を競う野外スポーツ）、1 月 27 日に菅沢農地においてスノーシュー探検を開校し、四季を通じて様々な自然体験を専門家から企画いただくことができた。

○栄村青少年育成協議会の委員も栄小中学校のコミュニティースクールのボランティア代表を兼ねるなど役割が重複することから、令和 5 年度末をもって栄村青少年育成協議会は、発展的解散をした。

○自然学校は、野外活動を専門とする村内企業を活用し、より専門性が高く安全なプログラムで子どもたちに多様な体験を提供することができた。これにより子どもたちは普段できない体験と、高学年はリーダーとしての活躍へ繋がった。

点検項目⑧　社会体育に関すること

事務概要　・各種スポーツ大会、スポーツ教室の開催

・さかえスポーツクラブ（8 団体）への支援

・農村広場他社会体育施設の維持管理

評　　価　○栄村駅伝大会は令和 4 年と同様のコース（農村広場～箕作公民館～月岡公民館～小滝公民館～西部重機車庫～農村広場）で開催した。単身住宅（Next1）の建設から、スタートとゴール位置を変更し開催した。18 チームもの出場と、小学生も参加したコース設定に、だれもが気軽に参加できる大会の開催となった。

○令和 4 年に引き続きマレットゴルフ大会を開催できた。マレットゴルフ愛好会のバックアップで円滑に大会が進められた。参加者の大半はマレットゴルフ愛好会員ではあったが、大会運営など愛好会の主体で進められたことが大変良かった。

○第 53 回栄村スキー大会へ 41 人からの参加があった。武蔵村山市より選手の出場はなかったが、武蔵村山市スキー協会長が来賓で出席され、同協会比留間理事に前走を務めていただいた。）都市交流事業の推進も図られた。

○村民アルペンスキー教室は、29 名の参加があり、子どもだけでなく多くの大人の女性の参加もあり、幅広い年代層が受講した。

○さかえスポーツクラブへ活動育成補助金 120 万円を交付した。
スポーツクラブのあり方について話し合いを行い、多くの人が集い、クラブ員自身が楽しめる活動の重要性について理解を深めることができた。今後は令和 4 年度から検討を行っているスポーツクラブへの事務局移行も協議を進めたい。

○社会体育施設や農村広場などの適正な維持管理に努めているが、維持管理方法などの検討も進めたい。

点検項目⑨　文化財等に関すること

事務概要　・文化財指定とその保全、秋山郷保存民家の管理運営
・地域史料保全有志の会と協力した民具、古文書等の保存活用
・苗場山麓ジオパーク、栄村自然植物園の管理運営

評　　価　○文化財保護審議会を 1 回開催

○秋山郷保存民家は、保存民家が生家である福原廣氏へ管理委託をお願いし 4 月下旬から 11 月上旬まで開館することができた。来館者は延べ 519 名。昨年比 55 名増となった。適切な管理により、来館者の増加を推進したい。

○地域史料保全有志の会による「第 3 回栄村の文化と自然報告会」を後援した。希少動植物調査員も発表し、当日は約 70 名を超える参加があり、今後も多くの方から関心いただける内容を進めていきたい。

○苗場山麓ジオパークの取組では、ジオパーク振興協議会の窓口として教育委員会事務局に担当者 1 名を配置している。令和 5 年度は子どもたちの関心を深めることを目的とした「子ども探検隊講座」を企画し、栄村・津南町双方の小学生に大勢参加いただき、児童への関心を高めることができた。

○栄村自然植物園は、平成 19 年度から石沢進先生を中心にして村内に自生している多様な植物を 1 箇所に集め観察できるよう整備を行ってきた。石沢先生が平成 30 年に急逝された後は、朱雁先生が事業意思を引継ぎ、ボランティア団体と協力し植物の育成管理を進めた。今後は、維持管理の面から施設改修等を進め、他課と連携して活用方法について検討を進めていきたい。

点検項目⑩　保育園に関すること

業務概要　・北信保育園の管理運営
・園児数　4/1 現在　25 名　　3 月末 27 名
5 歳児 5 名、4 歳児 6 名、3 歳児 7 名、2 歳児 2 名・1 歳児 5 名・0 歳児 0 名

途中入所児は５名（0 歳児１名・１歳児２名・2 歳児１名・5 歳児１名）
途中退所は３名（１歳児１名・2 歳児１名・5 歳児１名）

・職員数　園長１名、主任１名、保育士４名（内育休職員１名５月末まで）、栄養士１名、会計年度職員５名（保育士３名・延長保育士１名・調理技師１名）計 12 名

・保育日数 283 日を運営した。

・一時預かり利用　12 日　利用者３名、延長保育利用園児数　延べ 28 名

評　　価　○やまほいく認定後、地域の方と一緒に野菜くずを使った土づくりや畑の草取り、野菜の収穫など、土づくりから野菜の収穫まで自然体験に取り組むことができた。また、身近な自然に関する研修会に園児と職員で参加し、植物、昆虫の学習も合わせて進められた。

○地場産物の食材を給食に使用する促進を図るため、農家さんより直接野菜を購入することにより、新鮮な食材のうまみなどを園児に提供することができ保護者の評判も良かった。

点検項目⑪　栄村学童クラブに関すること

業務概要　・月毎の利用希望の取りまとめ、指導員シフトの作成、利用料の請求、保護者・学校との連絡調整、物品等の手配

・指導員は３名体制とし児童の安全配慮を実施

・令和５年度年間開所日数　240 日

・令和５年度登録児童数　38 人（1 年生～6 年生）

・令和５年度のべ利用児童数　2,721 人

・一日平均利用児童数　11 人

・開設場所　４月～3 月　栄小学校身施の間、体育館、心施の間

・開所時間　学校のある日　　下校時～18 時まで
　　学校が休みの日　　8 時～18 時まで
　　（但し、土日、祝日とお盆休み 8/13～16、年末年始 12/29～1/3 は閉所）

評　　価　○下校後、保護者が就労のため不在になる児童に適切な遊びと生活の場を提供し、健全な育成が図れ、安全に運営することができた。

○学童クラブの児童の様子をニュースレターとして月１回発行したことで様子を詳しく知ってもらうことができた。

○避難及び消火訓練の実施により、子どもを安全に避難させる方法を指導員が共有できた。

○定期的に指導員会を開催し、児童の接し方について研修を深めることができた。

点検項目⑫　自然保護（希少動植物調査）に関すること

業務概要　・村内における希少動植物の調査

・自然保護にかかわる保全／啓発活動

評　　価　〇希少動植物調査（令和５年４月 11 日から令和６年３月 31 日）

令和３年度より商工観光課から所管換えとなった希少動植物調査は調査員２名を継続雇用し、村内に生息するギフチョウをはじめとする希少動植物について生態分布の調査を実施した。村内を北部、中部、南部の３つのエリアに分け自然のバロメーターとよばれるチョウやトンボを中心に調査を行い、特にギフチョウについては村内に広く生息していることが確認できたため、栄村広報及び地域史料保全有志の会の自然報告会で村内外に向け報告を行った。

また、栄村自然植物園や小学校・中学校へのチョウの食草の移植や、出前授業の実施により、自然保護のための啓発活動を推進することができた。

〇各集落公民館で希少動植物調査の報告会を開催し、住民の意識の高揚を図ることができた。（青倉・小滝）

令和５年度栄村教育委員会の主な会議状況

会議名等	開催期日	主な会議の内容等
４月定例教育委員会	４月 25 日	・令和５年度 教育委員会事務局事業について ・令和５年度「みんなで学校を創ろう！２」推進計画について ・栄村スクールバスの約束の改正について ・令和５年度栄村駅伝大会コースについて ・栄村誌リレー講座（市河文書）について
５月定例教育委員会	５月 23 日	・令和５年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について ・栄村自然環境保護審議会の答申について ・「みんなで学校を創ろう！」学校視察の参加状況について ・休日等における地震震度による学校等の対応について ・さかえふるさと塾への各課支援について
６月定例教育委員会	６月 27 日	・県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について ・栄村教員住宅の一部管理体制の変更について ・6/21 秋山地区「お茶しね～かえ？」について ・６月議会定例会の教育委員会に係る一般質問について ・令和５年度栄村新着任教職員研修会実施について ・第 17 回栄村駅伝大会について ・苗場山麓ジオパーク振興協議会総会について
７月定例教育委員会	７月 25 日	・栄村公民館報編集委員の委嘱について ・総合教育会議の開催について ・秋山地区「お茶しね～かえ？」②のお誘いについて ・令和５年度　栄村二十歳の集い開催要項（案）について ・不審者対応について ・学校訪問計画について
８月定例教育委員会	８月 30 日	・小中学校統合の学校形態の決定について ・令和６年度から使用する小学校教科書の採択について ・栄村教育委員会活動の点検・評価報告書について ・区域外就学の承諾について ・第 66 回長野県市町村教育委員会研修総会について ・栄村村民登山「今年こそ登ろう苗場山」開催要項（案）について

会議名等	開催期日	主な会議の内容等
9 月定例教育委員会	9 月 26 日	・総合教育会議に係る資料の確認について ・栄村統合小中学校整備基本計画策定支援業務に係るプロポーザル評価検討委員会の委員選出について ・第 50 回武蔵村山市民駅伝競走大会への参加について ・10 月 1 日付け事務局職員の異動について ・令和６年度「市町村の特色ある教育を支援する教員配置事業」応募について
10 月定例教育委員会	10 月 27 日	・中間報告におけるパブリックコメントについて ・栄村統合小中学校整備基本計画策定支援業務に係るプロポーザル結果について ・区域外就学生徒の受け入れに関する公費負担について ・栄小中統合スケジュール表について ・セイコーエプソン再生紙ノート寄贈について ・公民館講座他イベントの開催について
11 月定例教育委員会	11 月 29 日	・「みんなで学校を創ろう！」栄村統合小中学校整備基本計画策定支援業務及び引越し計画、児童生徒との懇談について ・11 月議会全員協議会報告について ・12 月定例会一般質問について ・学校職員の勤務時間等に関する規程の一部を改正について ・セイコーエプソン(株)によるビジネスモデル構想について ・大谷翔平選手によるグローブの寄付について
12 月定例教育委員会	12 月 19 日	・「みんなで学校を創ろう！」⑬住民懇談会について ・第 53 回栄村スキー大会開催要項（案）について ・学校内事故報告について ・12 月定例会一般質問について ・ジオパーク事業「飯塚英春写真展」について

会議名等	開催期日	主な会議の内容等
1月定例教育委員会	1月29日	・「みんなで学校をつくろう！」⑭住民懇談会について ・「みんなで学校をつくろう！」⑮住民懇談会について ・令和6年度　教育委員会 会計年度任用職員応募について ・令和6年度教育委員会予算の計上について ・栄村文化財保護審議会に係る議事内容の報告について ・令和6年1月1日発生能登半島地震の対応について ・令和5年度購入スクールバスのラッピングについて ・令和6年度栄小学校から栄中学校への引っ越し計画について
2月定例教育委員会	2月21日	・栄村公民館長の任命について ・令和6年度　栄村教育施政方針について ・令和5年度　卒業式告示の内容について ・令和6年度小中学校の学級編成見込について ・防災の日に係る能登支援チャリティ上映会の実施について ・令和6年度社会教育団体への補助金について ・地域おこし協力隊インターン(聞き書き)の雇用について
3月定例教育委員会	3月22日	・栄村公民館報編集委員の委嘱について ・栄村社会教育委員の選任について ・栄村スポーツ推進委員の選任について ・教職員及び教育委員会事務局職員の人事異動について ・3月定例議会の一般質問について ・「みんなで学校をつくろう！」⑯住民懇談会について ・教育委員会事務局行事の実施及び計画について